

『図解と数値例で学ぶ多変量解析入門—ビッグデータ時代のデータ解析』

正 誤 票

この正誤票は第1版第1刷に対するものです。お詫びして訂正いたします。

位 置	誤	正																																																												
p.45 下から1行目	kS_{xy}	kS_{xx}																																																												
p.46 上から2行目	$-kS_{xy}$	$-kS_{xx}$																																																												
p.52 2.3.4 上から4行目	分散が10 cm	標準偏差が10 cm																																																												
p.52 2.3.4 上から5行目	分散が0.1 m	標準偏差が0.1 m																																																												
p.63 式(2.47)	$F = \dots = \frac{V_1 / \sigma^2}{V_2 / \sigma^2}$	$F = \dots = \frac{V_1 / \sigma_1^2}{V_2 / \sigma_2^2}$																																																												
p.71 下から2行目	$n-1$	$p-1$																																																												
p.78 下から5行目	$\begin{bmatrix} 1 & 0.5 & 0.5 \\ 0.5 & 1 & -0.5 \\ 0.5 & -0.5 & 1 \end{bmatrix} = 1.5 \begin{bmatrix} \ell_{11} \\ \ell_{12} \\ \ell_{13} \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 1 & 0.5 & 0.5 \\ 0.5 & 1 & -0.5 \\ 0.5 & -0.5 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \ell_{11} \\ \ell_{12} \\ \ell_{13} \end{bmatrix} = 1.5 \begin{bmatrix} \ell_{11} \\ \ell_{12} \\ \ell_{13} \end{bmatrix}$																																																												
p.79 上から1行目	$\begin{bmatrix} 1 & 0.5 & 0.5 \\ 0.5 & 1 & -0.5 \\ 0.5 & -0.5 & 1 \end{bmatrix} = 1.5 \begin{bmatrix} \ell_{21} \\ \ell_{22} \\ \ell_{23} \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 1 & 0.5 & 0.5 \\ 0.5 & 1 & -0.5 \\ 0.5 & -0.5 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \ell_{21} \\ \ell_{22} \\ \ell_{23} \end{bmatrix} = 1.5 \begin{bmatrix} \ell_{21} \\ \ell_{22} \\ \ell_{23} \end{bmatrix}$																																																												
p.146 表 6.2 肝硬変群 検査 A 分散 検査 A 全分散 検査 B 全分散 検査 A と B 共分散	0.036 0.083 0.042 -0.012	0.040 0.0614 0.0286 0.0084																																																												
下から3行目	全分散共分散行列を求めると、	式(6.9)より求めた全分散共分散行列は、表6.2より、																																																												
下から2行目	$S = \begin{bmatrix} 0.083 & -0.012 \\ -0.012 & 0.042 \end{bmatrix}$	$S = \begin{bmatrix} 0.0614 & 0.0084 \\ 0.0084 & 0.0286 \end{bmatrix}$																																																												
p.147 1行目	$\begin{bmatrix} 0.083 & -0.012 \\ -0.012 & 0.042 \end{bmatrix}^{-1}$	$\begin{bmatrix} 0.0614 & 0.0084 \\ 0.0084 & 0.0286 \end{bmatrix}^{-1}$																																																												
p.151 表 6.5 項目名	(誤) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>No.</td> <td>x1:</td> <td>x2:</td> <td>x3:</td> <td>x4:</td> <td>x5:</td> <td>x6:</td> <td>x7:</td> <td>x8:</td> <td>x9:</td> <td>x10:</td> <td>x11:</td> <td>x12:</td> <td>x13:</td> <td>x14:</td> <td>C:</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収益力比率</td> <td>総資本経常利益率</td> <td>自己資本比率</td> <td>流動比率</td> <td>固定比率</td> <td>手形手持月数</td> <td>経常収支比率</td> <td>借入金月数</td> <td>総資本回転率</td> <td>在庫回転期間</td> <td>売上債権回転期間</td> <td>買入債権回転期間</td> <td>売上高増加率</td> <td>経常利益増加率</td> <td>判別群</td> </tr> </table>	No.	x1:	x2:	x3:	x4:	x5:	x6:	x7:	x8:	x9:	x10:	x11:	x12:	x13:	x14:	C:		収益力比率	総資本経常利益率	自己資本比率	流動比率	固定比率	手形手持月数	経常収支比率	借入金月数	総資本回転率	在庫回転期間	売上債権回転期間	買入債権回転期間	売上高増加率	経常利益増加率	判別群	(正) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>No.</td> <td>x1:</td> <td>x2:</td> <td>x3:</td> <td>x4:</td> <td>x5:</td> <td>x6:</td> <td>x7:</td> <td>x8:</td> <td>x9:</td> <td>x10:</td> <td>x11:</td> <td>x12:</td> <td>C:</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総資本経常利益率</td> <td>自己資本比率</td> <td>流動比率</td> <td>固定比率</td> <td>手形手持月数</td> <td>経常収支比率</td> <td>借入金月数</td> <td>総資本回転率</td> <td>在庫回転期間</td> <td>売上債権回転期間</td> <td>売上高増加率</td> <td>経常利益増加率</td> <td>判別群</td> </tr> </table>	No.	x1:	x2:	x3:	x4:	x5:	x6:	x7:	x8:	x9:	x10:	x11:	x12:	C:		総資本経常利益率	自己資本比率	流動比率	固定比率	手形手持月数	経常収支比率	借入金月数	総資本回転率	在庫回転期間	売上債権回転期間	売上高増加率	経常利益増加率	判別群
No.	x1:	x2:	x3:	x4:	x5:	x6:	x7:	x8:	x9:	x10:	x11:	x12:	x13:	x14:	C:																																															
	収益力比率	総資本経常利益率	自己資本比率	流動比率	固定比率	手形手持月数	経常収支比率	借入金月数	総資本回転率	在庫回転期間	売上債権回転期間	買入債権回転期間	売上高増加率	経常利益増加率	判別群																																															
No.	x1:	x2:	x3:	x4:	x5:	x6:	x7:	x8:	x9:	x10:	x11:	x12:	C:																																																	
	総資本経常利益率	自己資本比率	流動比率	固定比率	手形手持月数	経常収支比率	借入金月数	総資本回転率	在庫回転期間	売上債権回転期間	売上高増加率	経常利益増加率	判別群																																																	
* x1: 収益力比率 と x12: 買入債権回転期間 の列を削除し、番号をつめる。																																																														

位 置	誤	正
p.152 図 6.5	x_8 :借入金月数 x_9 :使用総資本回転率 x_{10} :在庫回転期間	x_7 :借入金月数 x_8 :使用総資本回転率 x_9 :在庫回転期間
p.177 上から 10 行目	$a_{li} (i=1, \dots, p)$	$a_{lj} (j=1, \dots, p)$
p.188 上から 2 行目	表 8.8	表 8.10
p.202 下から 12~11 行目	式 (9.14) から…求まります.	式 (9.14) は不定解ですが, 1 つの近似解として, $h_1(1) = 0.2905$ (20~30 代), $h_1(2) = -0.3005$ (40~50 代), $h_1(3) = -0.1868$ (60 代~) が求まります,
p.203 図 9.3 20~30 代, 40~50 代, 60 代~ の矢印の位置	* 正欄を参照	正誤票の p.202 の正欄の値の位置に修正
p.237 式(11.14)	$(x_j = \sqrt{\lambda_j} v_{ij}, \quad j=1, \dots, p)$	$(x_m = \sqrt{\lambda_m} v_{im}, \quad m=1, \dots, p)$
p.252 囲み内下から 6 行目	ていかを表します.	ているかを表します.
p.282 手順 3 下から 4 行目 手順 4 上から 2 行目	方程式 (13.11) 数値例 12-①	方程式の式 (13.10) と式 (13.11) 数値例 13-①
p.283 下から 4 行目	式 (13.12)	式 (13.13)
p.284 上から 2 行目	(13.12)	(13.13)

2020 年 3 月 日本規格協会